

後援会総会を開催しました

去る、4月20日(水)に長崎新聞社文化ホール(アストピア)にて「五輪清隆」後援会総会を約200名の皆さんに参加いただき開催しました。

開会冒頭、坂本後援会会長・高比良県議より挨拶があり、その後五輪市議より平成15年に施行された長崎市議会初当選での感謝のあいさつと今日までの後援会皆さんへのご支援のお礼および今後の決意が述べられました。

懇親会では、終始なごやかな雰囲気の中、2年前の苦しかった選挙選の思い出話や久しぶりに会う後援会員が終了予定時間を忘れて会話に華が咲いていました。

最後に奈良崎校区長の音頭で、「高比良県議」「五輪市議」の各議会での更なる活躍と参加された皆さんのご健勝を祈念し「ガンバロー三唱」で終了しました。



坂本後援会長より挨拶



和やかに会話がはずむ



先輩より激励を受ける「五輪市議」夫婦

地域防災パトロール実施

五輪市会議員は、高比良県議、地域役員の皆さんと6月11日・12日・18日・19日の4日間、危険箇所のパトロールを行い、街灯・手すりの設置や河川整備など26箇所を点検し、長崎市など関係先へ要請しました。

▽河川内の整備(西山3丁目)



△手すり設置で歩行者の安全対策(江平町)

議会報告会開催中!

五輪市会議員は、高比良県議員と共に、7月から8月にかけて、県政・市政の動きや課題について各地域で開催し、報告会に参加者より出された要望等については、各行政に意見反映していきます。



ご相談はお気軽に!

長崎市議会議員
いづわ清隆
長崎市の都1丁目1444-13
自 宅 ☎(844)9599
生活相談室 ☎(861)1985



この用紙は再生紙を使用しています。

やさしい街づくり! 元気な長崎!

長崎市議会議員

いづわ清隆 だより

第11号

平成17年8月 発行責任者: 馬場 尚之 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



暑中お見舞い申し上げます

暑い日が続きますが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年は台風の当たり年と言われたように日本へ最多の9個も上陸し多くの死者を出すという近年にない大きな台風の続出でありました。

そのような中で、長崎市にも直撃し、市民の生活に大きな被害を受けました。

災害は時を選ばず、予測なしに被害をもたらしますので、充分に注意しなければなりません。

さて、6月に開催された定例議会では、主に公営施設の運営・管理に民間を参入させる「指定管理者制度」の導入により81施設で公募にて指定管理者を選考し平成18年4月よりの実施となりました。

長崎市では、本年3月に「県立美術館」が開館し、秋には「長崎歴史文化博物館」が完成予定となっております。

また、来年4月より開催される「長崎さるく博」のプレイベントとして本年7月30日から10月16日まで実施されますので、情緒豊かな長崎の町を散策してみてくださいでしょうか。

6月議会では5回目の一般質問の機会を頂き6月13日に登壇し、当日は多くの支援者の傍聴を頂き、行政に対して市民の代弁者として質疑を交わしました。

今後とも、私のモットーである「やさしい街づくり」「元気な長崎」に向けて議員活動を推進する所存でありますので、ご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

平成17年6月定例議会は、6月6日から23日までの18日間の会期で開催され、公営施設の運営、管理に民間を参入させる「指定管理者制度」を111施設で導入する関連議案など81議案を原案通り可決し閉会しました。
可決した議案のうち、指定管理者制度導入のための条例改正案など76件、意見書5件で、意見書では本年6月の改正で制度目的の見直しが行われた、被爆体験者の医療給付制度を創設時の目的に戻すことなどを求めました。
さらに、自閉症など発達障害児の保護者が提出した、市の支援体制充実を求める請願など2件を採択しました。

五輪清隆の主な質問



自席にて、再質問を行なう

学校選択制について

【質問】本年4月より実施された市立小・中学校へ入学する新1年生を対象にした学校選択制度で通学区域外入学した生徒数および選択理由について

【答弁】今年度の市立小学校へ入学した児童生徒は、小学校に3581人・中学校に3704人で、このうち学校選択制を利用した方は、小学校56校のうち44校で199人、中学校31校のうち25校で251人でありました。

選択した理由は、「自宅から学校が近い」「学校への通学道路」などに加えて、小学校では「学童保育や祖父母宅に近い学校」など

の下校先の関係、中学校では「クラブ活動」となっています。

【質問】隣接校への通学区域外入学で児童・生徒が多く希望された学校の来年度以降の小規模校対策等について

【答弁】各学校は、これまで以上に保護者や地域に対して、学校の教育活動や児童生徒の様子等について情報提供し、保護者や地域の声にも耳を傾けながら、地域に根ざした教育活動が展開されていくと考えています。

その中で、各学校から教育委員会への要望があれば、指導主導等を派遣するなどして支援して行きます。

【質問】文部科学省は、来年度より小学1・2年生を対象に1学級35人編成するとの方針があるようですが、35人学級編成の将来の考え、方向性、少人数学級について

【答弁】35人学級編成は現在「中央教育審議会」で論議されており、新聞等で報道しており実現するかどうかは不透明な状況であります。

少人数学級は「きめ細やかな指導ができる」「個別に対応することが可能になる」「友達同士のふ

出しステーションを41箇所、人力による引き出しステーションを1箇所設置しております。

主要地方道の川平町三宝橋から長与町三根郷間の拡幅について

【質問】川平町三宝橋から長与町三根郷に抜ける道路は、昭和57年度から長崎バイパスの拡幅事業との関連事業として、延長460メートル・幅9メートルで、平成9年度に、平成14年度を完成目標に県の道路事業として進められているが、現在の進捗と完成目途について

【答弁】川平町の三宝橋から長与町の行政界までの区間「川平工区」は、7時から19時までの12時間の交通量が約3600台あり、このうち、約5割が朝夕の通勤・通学時間帯に集中していることから、交通安全の確保と円滑な自動車交通のための道路改良が緊急の課題となっております。

事業の進捗状況は、延長460メートルのうち、約180メートルが完成していますが、用地交渉が難航している箇所が点在しているために連続した拡幅整備が出来ていない状況であり、今後とも早期完成に向けて施工主体である県に対して要望していきます。

「長崎さるく博」期間中の食の工夫

【質問】出島ワフーフ帯は、夏場になると観光スポットとして多くの皆さんが長崎港の夜景を見に来る地区であり、さらには来春には女神大橋にライトアップされて「さるく博」の観光者も多く来客することが予想されるので、出島ワフーフの飲食店にて地産地消を活用した「食」の提供はできないか

れあい限定される」「切磋琢磨しようとする意志が乏しくなる」など、さまざまな考え方があり、中央教育審議会でも論じられており、教育委員会としては、今後の国や県の動向を注意深く見守っていきます。

環境事業について

【質問】本年4月25日より不法投棄110番設置事業が実施されたが、現在までの通報件数および通報に対する対応および市民へのPRについて

【答弁】不法投棄110番への通報件数は6件あり、粗大ごみなどの一



市民の通報で見えられた不法投棄

【答弁】出島ワフーフは、長崎港および水辺の森公園へとつながる素晴らしいロケーションを背景として、様々な飲食店を中心としたテナントが集積する長崎ならではの観光スポットであり、市民・観光客の賑わいの場として親しまれています。



観光スポット「出島ワフーフ」



早期完成が望まれている拡幅整備

【質問】「燃やせないごみ」のステーション設置を「燃やせるごみ」ステーションの設置基準同様に軽自動車運搬や人力引き出しの導入により、運搬距離・時間の短縮ができないか

【答弁】「燃やせないごみ」のステーションは、パッカー車が横付けでき、駐停車する際に支障とならない場所に設置していますが、地元の要望、軽自動車の通行が可能な場所、現行の収集体制で人力による引き出しが可能と判断した場合などを検討し、その結果、平成16年3月以降、軽自動車による引き